

公明党千葉市議会議員団

市議会だより

発行日/令和3年10月 発行/公明党千葉市議会議員団
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

2021
秋号



災害用備蓄品の管理と活用について ローリングストック方式の導入を!

各家庭に推奨しているローリングストック方式は、普段利用している食料や日用品を少し多めに買い置きし、消費した分を補充するものです。

本市の災害用備蓄品についても、ローリングストック方式の考えで、管理および活用すべきと要望しました。

市長からは「物資の有効活用を図れるローリングストック方式は有意義なものであることから、本市の備蓄品の管理方法にも取り入れてまいりたい。今後は、食料品やペットボトル飲料水以外にも、生理用品をはじめ携帯トイレ、歯ブラシ、トイレトーパー、ウェットティッシュなど日用品も含め、備蓄品全体での更新計画を策定し、来年度以降の運用を目指していく。そして、フードバンクなど備蓄品を必要とする方に継続的に届けられるように進めていく。」旨の答弁がありました。



セーフティちば
防災備蓄品拠点倉庫を視察

防災普及車の活用で、防災・減災意識の啓発を 県内初のVR機能を搭載、よりリアルな地震体験が可能!

本年は東日本大震災から10年の節目であり、震災の記憶を風化させないために、一層の防災・減災意識の普及啓発が必要です。そのような中、消防局で所管し千葉市防災普及公社へ運用を委託している防災普及車が更新されました。より多くの市民・団体に利用を促進すべきと考え、今後の防災普及車の活用について伺いました。

副市長からは「防災普及車の更新費用は約6400万円で、車両の機能として新たにVR[®]システムを導入し、過去の地震から、今後、発生が予測される地震をリアルタイムCG[®]映像で再現することができること、また、利用可能な団体は、市内の町内自治会・自主防災組織・事業者・NPO法人など、営利を目的としない団体が市内で企画する防災イベント等で活用できること、さらには、プッシュ型の防災普及活動として、防災普及車を市役所や区役所等に出向させ、来庁された市民が体験できる活動も行っている。」旨の答弁がありました。

- ⑨ VR…「Virtual Reality」の略で、「仮想現実」と訳される。限りなく実体験に近い体験が得られること。
- ⑩ CG…「Computer Graphics」の略で、コンピューターを使って描かれた図形や画像を指す。



防災普及車の体験

2021
9月議会

公明党市議団の代表質疑

農業集落排水施設の再編で、合理的かつ経済的な運営を！

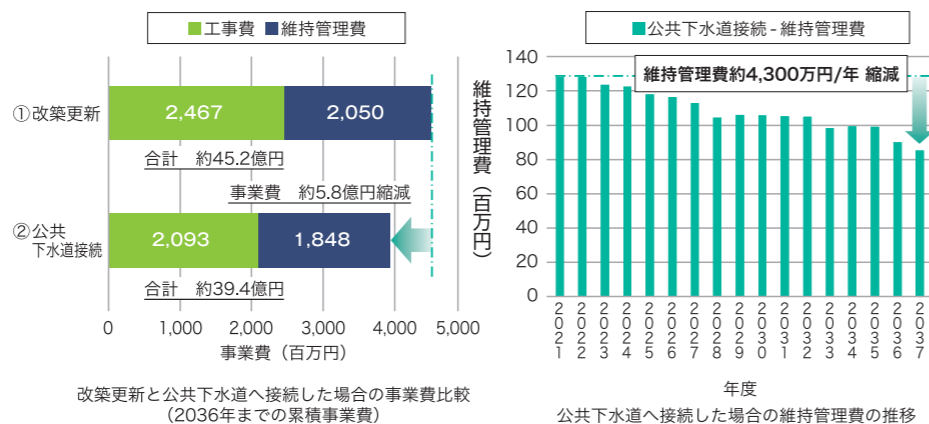


農業集落排水施設は、農業集落の形態に適した小規模集合処理方式の汚水処理システムで、処理水の再利用や発生活泥の農地還元を通じた水資源・有機資源のリサイクルを推進するものです。しかし、これからは将来的な人口減少の影響に伴い、施設の効率的な運営が困難になることから、老朽化した施設の更新時期を明確にし、公共下水道と統合することで財政的メリットがあることを指摘してまいりました。そこで、市内の農業集落排水施設の再編について伺いました。

市長からは「農業集落排水施設は、当初の供用開始から概ね30年が経過し、一部では耐用年数が過ぎるなど老朽化が進んでいます。今後は施設の維持管理や改築更新に経費が増大することに加え、人口の減少に伴う使用料収入の減少が見込まれることから、既存の処理場を改築更新するのではなく、地区を再編し公共下水道に接続する『千葉市農業集落排水施設再編計画』を本年3月に策定し、令和18年度末の完了を目途に進めていきます。

そして、これにより、処理場を個別に改築更新した場合と比較して、約5億8000万円の事業費の縮減と、再編後は、年間約4300万円の維持管理費の縮減を見込んでいます。

公共下水道との連携による業務の効率化と相まって、合理的かつ経済的な事業運営が図られるものと考えます。」との答弁がありました。



女性特有の症状や悩みに対応する女性専門外来の再開を！

生涯にわたる女性の健康支援を推進する観点から、会派として、女性専門外来の設置を要望し、結果、平成16年に千葉市で初めての女性専門外来が青葉病院に開設され、平成23年には海浜病院に設置されました。しかしながら後任の医師の確保ができず、令和3年4月から青葉病院が休止、海浜病院では令和元年度から休止している状況でした。

そこで、再度、女性専門外来の必要性を訴え、再開を要望しました。

病院事業管理者からは「現在も休止の状態が続いていることについて、市民に安全・安心な医療を提供する市立病院として市民ニーズに十分応えられていないことを重く受け止めています。このため青葉病院においては、既存の人員で対応できるようスキルの習得を進め、年度内を目途に再開できる見込みです。また、海浜病院においても、新病院に向けての体制の整備に努め、女性専門外来が安定的に運営できるよう目指してまいります。」と答弁がありました。

※その後、青葉病院で準備が整い10月から再開されます！



頻発する土砂災害への対策強化を！

記録的な大雨等による自然災害が頻発している中、本市には崩壊防止工事の対象となる危険箇所が110箇所あるものの、急傾斜地崩壊危険区域の指定には、工事に受益者負担金が伴うことなどから38箇所に留まり、整備済は26箇所と伺っております。そこで取り組み強化を求め、今後の整備推進について伺いました。

副市長からは「急傾斜地崩壊対策事業の実施には、権利者全員の合意が必要となることから、周知啓発の強化を図ってまいります。

また、多額の費用が必要となることから、計画的・効率的な事業の推進のため、県費補助の継続的な予算確保や、1工事あたりの限度額の拡大について引き続き千葉県に要望してまいります。」旨の答弁がありました。



通学路のさらなる安全対策を！

通学路で子どもたちが犠牲になる悲惨な事故を抑止すべく、7月5日に公明党市議団として対策強化を求める要望書を市長に提出したところ、改めて通学路カラー化計画の前倒しの取り組みと、スクールバス導入に向けた検討について、および県との連携強化について伺いました。



市長からは「本市の通学路カラー化計画では、令和6年度までに120キロメートルを整備する予定ですが計画を2年前倒し、残る50キロメートルを令和4年度の完了を目指します。スクールバスについては、国の動向を踏まえ市内の実情等について研究して参ります。また県との連携強化については学校周辺を含め、速度規制や取り締まり等に対する地元からの要望について、警察に申し入れしてまいります。」旨の答弁がありました。

学校の学習用机と椅子の計画的な更新を！

これまで学校校舎の耐震化と老朽化への対策およびトイレの洋式化などは、計画的に施設更新がなされています。一方、児童生徒が最も身近に使用する学校の学習用机と椅子については、老朽化が著しいものが散見され、計画的更新が見過ごされてきたことは否めません。そこで、将来を見据えた学習用机と椅子の計画的な更新をすべきと要望しました。

教育長からは「学校の約8万5千ある学習用机・椅子のうち、約7割が、購入年度が不明のものを含め20年以上使用しており、これまでは計画的な更新はできておらず、破損したもののみを交換してきている。今後の対応については、破損率が高まる20年の使用期限を目安に、期間を定めて更新する計画の策定を早急に検討していく。」旨の答弁がありました。



中央区・新宿小学校 学校の学習用机と椅子の現地調査

新型コロナウイルス感染症対策の強化を!

千葉市の主な取り組みを推進しました (令和3年9月16日現在)

- ▶ **病床の確保** (市立病院の専門病床の確保、感染した妊婦への体制強化)
- ▶ **宿泊療養施設の拡充と酸素ステーションの設置拡充** (5床)
- ▶ **抗体カクテル療法** (市内12医療機関で投与可能)
- ▶ **パルスオキシメーターの貸与** (約7,000台を確保)
- ▶ **自宅療養者のうち、希望者への配食サービスの実施**



- ▶ **自宅療養者健康観察センターの開設**
軽症から中等症患者を対象に健康観察を行い、医療機関等と連携してオンライン診療や投薬、在宅診療を提供します。看護師等を配置し体制強化。

軽症・中等症患者
(自宅療養者)

診療

医療機関

健康観察

連携

自宅療養者健康観察センター
(看護師等)



公明党から提出!

公明党からの「出産育児一時金の増額を求める意見書」が全会一致で採択されました。

令和元年の出生数は86万5234人で、前年に比べ5万3166人減少し、過去最少となっています。少子化克服に向け、安心して子どもを産み育てられる環境を整える一手として、出産育児一時金の増額で経済的支援を強化すべきと国へ求めるものです。



市政に関するご意見やご要望をお寄せください!

年齢・お住まいについて (該当するものに✓をおつけください。)

- ▶ お住まい 中央区 花見川区 稲毛区 若葉区 緑区 美浜区
- ▶ 年齢 20歳未満 20~39歳 40~59歳 60~74歳 75歳以上

お寄せいただいたご意見・ご要望については、政策提案等に役立ててまいります。

FAX.043-245-5584

公明党千葉市議会議員団 TEL.043-245-5483 <https://chibakomei.com/>